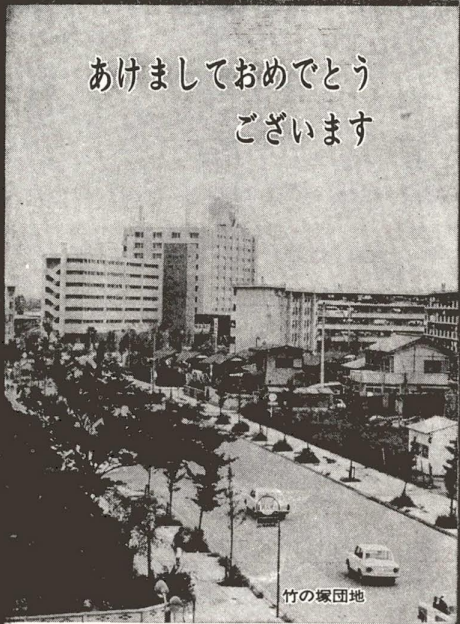


# 区のお知らせ

足立区  
企画室  
☎(882) 1111

あけましておめでとう  
ございます



竹の塚団地

### ごあいさつ



足立区長  
岡崎 十止 雄

区民のみなさま明けましておめでとうございます。昨年中は、区政伸展のために多大なるご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

現在、本区は五十万有餘の人口を擁し、新市街の開発、既成市街地の改造、さらに交通施設の改善など、その発展はまことに急速なものがああります。したがって、区における行政需要も年ごとに増大し、財政面も一般、特別両会計合わせて112億9千万円という膨大な予算額を示しているのであります。その骨子とするところは「生活環境の整備」、「青少年の健全育成」、「社会福祉の増進」という三本の柱でありまして、これに適應した諸施策を強力に推進しております。

まず、長期計画の構想を基本に、区民中心の総合福祉施設として、昨年11月に、中部に次ぐ東部区民福祉センターが完成しました。また災害時の緊急物資を備蓄するための倉庫の建設、保育園の建設、足立福祉事務所の改築など、福祉行政の内容充実に応じた施設の建設に着手しております。

また、青少年の健全育成を図るために、本年は本格的な社会教育施設として中央図書館の建設、少年野球場・児童交通公園の設置、児童遊園・学童保育クラブの増設を進め、さらに教育・児童文化の総合的センターを建設する計画も考えております。

学校建設につきましては、鉄筋化の促進によって、校舎の増改築を進め、体育館・プール等付帯施設も全校設置を目標として、その早期実現につとめております。

生活環境づくりにおきましては、なんと申ししましても道路・下水路の整備が最大の課題でありますので、下水路の暗渠化によって道路を拡幅するという総合的解決策を実施しております。また、旧市街地内の公園建設、交通安全のための街路燈やガードレールの増設など多方面にわたる環境づくりに全力をあげておりますが、環境衛生、美化運動、交通安全運動などにつきまして、区民のみなさまの絶大なご協力により多大の成果が得られましたことは、まことに感謝にたえません。

新春にあたり、さらに一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。区政の一端をご報告いたしまして年頭のごあいさつといたします。

## 伸びる区政

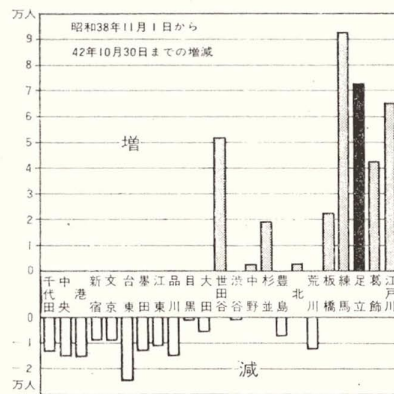
### 昭和38年当時との比較

区内の発展に伴って、やらなければならない多くの仕事に、区は全力をあげています。では、38年当時と比べて、なにが、どんなに建設されたか、グラフと数字でみてみましょう。

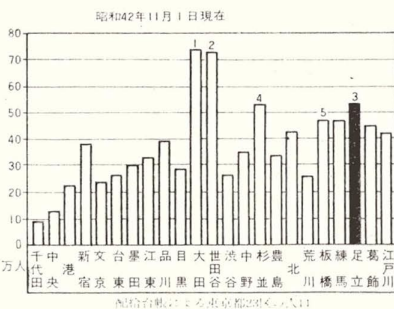
## 激増する人口

足立区の人口の伸びは、他区に比べていちじるしいものがあります。無秩序に住宅が建てられることは、よい町づくりのために決して好ましくありません。ですから、足立区では区画整理事業を推進して、はやくから町づくりに力を入れてきました。グラフでわかるように、中心区部の人口は一樣に減って、周辺区が激増しています。足立区では4年間に73,371人も増し、42年11月現在 533,841人も達しています。

### 人口の動き (23区との比較)



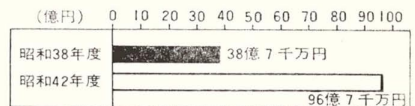
### 現在の人口 (23区との比較)



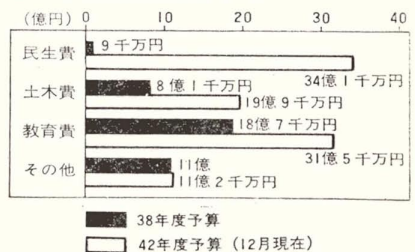
## ふくらむ財政

やろうとする仕事が多くなるにつれて、財政規模も毎年増加の一途をたどっています。足立区は地域的な関係で、いままでも教育・土木の予算が最も高い比率を示していましたが、40年4月に福祉の仕事などが区に移りましたので、現在では福祉関係(民生費)が一番高額な予算になりました。下のグラフは一般会計の予算を比べたものですが、42年度の規模は38年度の倍以上となり、それだけ仕事も多くなっています。

### 一般会計予算の比較



### おもな事務事業費の比較



## 区税収入

区民のみなさんが納められる税金は、区の仕事の大きな財源となります。この税金がどのように変わってきたでしょうか。下のグラフのとおり、37年度と41年度とを比較しますと、かなりの伸びを示しています。

### 区税収入の比較



## 財政の現状

### 41年度決算から

発展する足立区では、建設的な事業が多く、区税の収入だけではばう大な経費はまかなえません。ですから都からの交付金や支出金ならびに国からの支出金などに負うところがきわめて大きく、41年度の決算をみてもわかりますように、これらの財源が全体の60%約52億9千万円にものぼっています。(昭和41年度の一般会計決算は、歳入88億7千772万8千230円、歳出85億2千446万614円でした。)

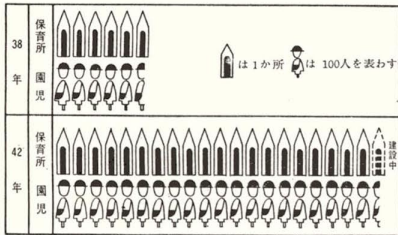
昭和41年度一般会計決算	歳入	都からの交付財源	特別区税	国からの交付財源	その他
		40.9%	25.1%	18.7%	15.3%
		36億3千万円	22億3千万円	6千万円	6千万円
		都庁交付金・都庁支出金など 国庫補助金など 国庫支出金			
	歳出	民生費	教育費	土木費	その他
		32.4%	28.8%	18.4%	8.3%
		27億6千万円	24億5千万円	7千万円	10億3千万円



### ふえる区民福祉施設

家庭の悩みを解決し、地域社会の福祉を増進するためには、区民のみならずが利用できるいろいろな福祉施設をふやしてゆく必要があります。このため、各種の福祉施設をさかんに建設していますが、38年当時と比べてどのように変わってきたでしょうか、グラフでこれを見てみましょう。(42年は年度内設置予定を含む)

#### ■ 保育園と園児数



#### □ 学童保育クラブ (鍵っ子対策)

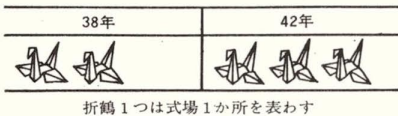


#### ■ 公会堂・集会場

区分	38年	42年
一般	2	6
児童	0	2
青年	1	1
老人	0	2

人物1人は施設1か所を表わす

#### □ 結婚式場



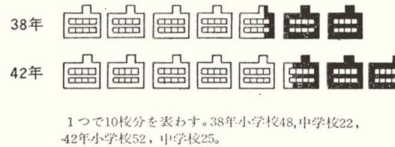
### ふえる学校よくなる施設

新しい町づくりとともに学校も建設され、区立小中学校の多いことでは23区中3番め。校舎の鉄筋化も、小学校で全体の52%、中学校では55%まで進みました。では、学校施設などがどれだけふえたか、グラフでこれを見てみましょう。(児童生徒数は各5月現在、42年の施設は年度内設置予定を含む)

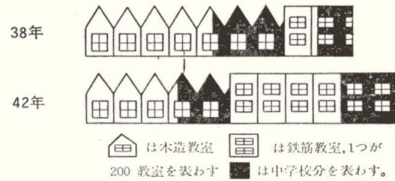
#### ■ 児童・生徒数



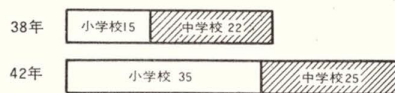
#### □ 学校



#### ■ 木造・鉄筋別教室



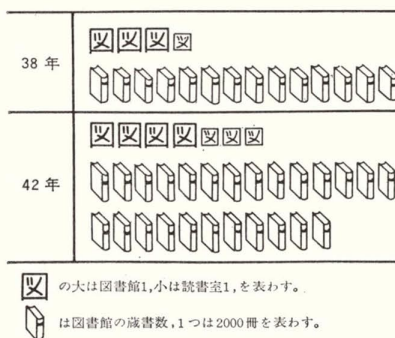
#### □ 学校体育館



#### ■ 学校プール



#### □ 図書館と蔵書数



足立区議会議長 富沢孝之

#### 年頭にあたって

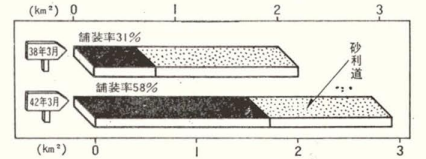
区民の皆さまあけましておめでとうございます。私は昨年5月の区議会臨時会において、再度議長に推薦され就任いたしました。議員の円満な運営と住民福祉の向上のため微力ながら全力を傾注して努力をしております。

お陰をもちまして大過なく越年することができました。これはひとえに皆さまのご指導、ご鞭撻の賜ものであり、心から感謝の意を表する次第であります。輝かしく昭和43年を迎えまして、いよいよ心を新たに重要施策の達成に最大の努力を傾注する所存であります。何とぞ本年も旧に変わぬご支援を切にお願い申し上げますと共に区民の皆さまのご健康とご繁栄をお祈り申し上げまして年頭のごあいさつといたします。

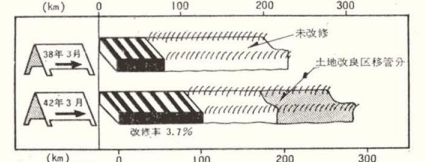
### 生活環境の整備

住宅がふえれば、道路・河川(用水・下水)・公園・街路燈など生活環境の整備が必要です。新しい町づくりに立遅れないよう、年次計画を立て着実に進めています。(グラフは各年3月現在)

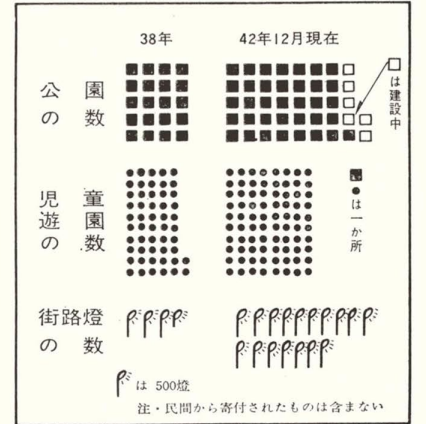
#### ■ 道路舗装状況(区道)



#### □ 下水路(用水)の改修状況



#### ■ 公園・児童遊園・街路燈



■ 急告 お米の通帳は、2月29日まで有効になりました。通帳を証明に使うときは、出張所で有効期限を訂正してもらってください。

### 文化とスポーツ

足立区は非常に面積が広いので、学生たちの勉強室として地域図書館などを各地域につけていますが、42年度から43年度にかけては大規模な中央図書館(仮称)を建設します。また、体力づくりのための運動施設の増設・整備にも力を入れています。(42年は年度内設置予定を含む)

#### ■ スポーツ施設

